

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 ロケツーリズム推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部 観光資源活用課 観光コンテンツ係

電話番号：058-272-1111(内3934)

E-mail：c11337@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 10,000 千円 (前年度予算額： 3,700 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,700	0	0	0	0	0	0	0	3,700
要求額	10,000	0	0	0	0	0	0	0	10,000
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

ロケツーリズムは、映画、ドラマのロケ地のみならず、モデルや舞台となった場所や周辺地域の地域資源の発見、磨き上げ、活用、再認識といった魅力向上と情報発信による観光誘客の推進といった二つの意義があり、地域の活性化と観光振興に大きく寄与するものと考えられる。

そこで、本県の魅力的な撮影候補地に関する情報を発信し、映画やテレビドラマ等のロケ地やモデル地として採用されることを促すとともに、ロケ地等の地元における受入れ体制を整備することで、誘客促進・観光消費拡大につながるロケツーリズムを推進する。

(2) 事業内容

映画、テレビ番組等の誘致や制作支援を行うとともに、「特定非営利法人ジャパン・フィルムコミッション(JFC)」に加入し、他のフィルムコミッション組織とも連携しながら、制作会社等に対するプロモーション活動を実施する。

また、県内で撮影された作品や県内観光地等をモデルとした作品など岐阜県ゆかりの映像作品や文学作品等を活用し、ゆかりの地の地域活性化や観光誘客につながるような戦略的なプロモーションやモデル地・ロケ地における受入れ体制整備により、誘客促進・観光消費拡大につなげる。

(3) 県負担・補助率の考え方

県内のロケ地・モデル地を活用して岐阜県の魅力を発信することから、県の負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

特になし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	42	プロポーザル評価会議構成員
旅費	100	ロケハン・撮影支援旅費、プロモーション活動等旅費
委託料	9,758	映像作品等を活用した各種プロモーション事業
負担金	100	特定非営利法人ジャパン・フィルムコミッション会費
合計	10,000	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

3 地域にあふれる魅力と活力づくり

(2) 次世代を見据えた産業の振興

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県内で撮影された作品や県内観光地等をモデルとした作品など岐阜県ゆかりの映像作品や文学作品を活用したゆかりの地の地域活性化や誘客促進につながるようなイベントの実施や広報物の作成等を実施することにより、岐阜の魅力発信とロケ誘致を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①観光消費額		4,013億円	3,300億円	3,450億円	3,600億円	111.5%
②観光入込客数 (実数)		4,470万人	4,900万人	5,100万人	5,300万人	84.3%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	・大河ドラマ『どうする家康』関連ゆかりの地のPRを実施
	指標① 目標：2,400億円 実績：2,702億円 達成率：112.6 %
令和5年度	・映画『銀河鉄道の父』のロケ地となった恵那市岩村町・明智町内でロケセットの再現やパネルの展示
	指標① 目標：2,900億円 実績：3,044億円 達成率：105%
令和6年度	・令和6年度公開作品においては、当事業ではなく、別途、岐阜県観光振興事業費補助金（映像作品制作支援・活用体制強化事業）により、団体等の取組を支援することでロケツーリズムを推進 （映画『光る川』ロケ地マップ制作。アニメ『小市民シリーズ』岐阜市コラボレーション施策実施。アニメ『やくならマグカップも』音声案内事業実施等）
	指標① 目標：3,100億円 実績：4,013億円 達成率：129.5%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)</p> <p>3: 増加している 2: 横ばい 1: 減少している 0: ほとんどない</p>	
<p>(評価)</p> <p>2</p>	<p>県が舞台・ロケ地となるドラマ・アニメ等が継続的に公開されていることから、作品を活用した誘客促進など十分な効果を得られる体制等を強化する必要がある。</p>
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)</p> <p>3: 期待以上の成果あり</p> <p>2: 期待どおりの成果あり</p> <p>1: 期待どおりの成果が得られていない</p> <p>0: ほとんど成果が得られていない</p>	
<p>(評価)</p> <p>3</p>	<p>県が舞台・ロケ地となる作品のPR等により、一過性の観光PRに留まることなく、本県の魅力向上に寄与しつつある。</p>
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)</p> <p>2: 上がっている 1: 横ばい 0: 下がっている</p>	
<p>(評価)</p> <p>2</p>	<p>作品ごとにロケ地となる自治体等と連携し、旬な作品の効果的な活用・PRを実施できている。</p>

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項
速やかにブームを逃すことなく作品の活用を図る必要がある。また、作品の活用により、一過性の観光PRに留まることなく、継続的に県の魅力を発信していくことが必要となる。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
引き続き、作品を活用することで地域活性化を図っていく。また、作品ごとに、舞台となる市町村等と連携して、より効果的な作品の活用やPRを図っていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	【〇〇課】